

時事新報定例
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價送
送料廣告料ハ左ノ如シ
一紙三錢〇二箇月前送金五十錢〇三箇月前送金六十錢〇六箇月前送金八十錢

Table with 2 columns: Subscription rates and prices. Includes rows for '五種活字ニテ' and '一行廿四字' with various pricing options.

時事新報

在倫敦 某

民育の事
民育と申すは日本國民の全體をして能く世間の事情に通せしめ獨り一身一家の事に止まらず餘力あれば廣く全國の利害得失にも氣を用ひしむる様に民心を教育するものと名けて民育と申す元來日本國の風は國の政治と全國の利害と云ふ太切の事柄に氣を用ひて其事に與かる者は皆昔の侍のみで百姓町人杯で此大切な事柄に氣を用ひる者は一人も御坐り升せん適々之に氣を用ふる者あり升して直に謀反人とか何と名を付けられ升して牢屋に入れらるるか殊にさるるか何と云ふも命懸の仕事であり升するから遂には百姓町人の身分として政治杯に口を容るるものには無の杯と云ふ事大變な開運を生じ升る明治維新王政復古の一騒動で此邊の模様も餘程變り升た様では御坐り升すけれども昔から永く人の心も染込だ事は中々十年や二十年の年月では消え失せぬものと見之升して今日でも矢張り昔の侍が國の政治に與かり升して我日本國の骨髄とも申すべき百姓町人は夢中作左更らに政治杯の考はあり升せん實際其局に當て政治を取扱ひ升する人々は勿論昔の侍や或は其侍の子孫か有升すし又世間に所謂學者と新聞記者とか又は在野の壯士連杯申し升する者も皆此昔の成れる果で御坐り升して眞の民間には學者も記者も壯士連も此様な人物は獨りもあり升せん近頃は文明だとか開化だとか申し升して大分世間が賑々豊成て参り升たけれども此賑も皆侍仲間賑に止まり升して民間の人は此賑は何故なるや文明開化とは何様のものなるや更に其邊に無頓着で御坐り升して唯廣大なる煉瓦石造りの家と見たり大層な夜會杯の話を聞て賑々賑々のみで此煉瓦石や夜會の入り費は誰れの懐から出たものやら賑張り御存じあり升せん元來日本と申す國は日本人全體の國で御坐り升して決して侍や役人達計りの國では有升せんから日本國の仕事は日本全國の人が互に能く相談して取振ふべき者で之を他人に打任せて安心する譯のものでは御座り升せん煉瓦石や宴會杯の費用も其金の出所を詮議し升れば皆百姓町人が朝から晩まで汗水流して儲け升し御座り升するから勿論其金の遣ひ拂の事も就ては色々相談にも與かり又其遣ひ拂の當否も口を容るべき筈で御座り升すけれども前にも申し升した通り我國昔の風習として百姓町人は一切政治の事に口を出さずとの出来な仕事と御座り升すから其風習が今日まで存して居り升して今日でも百姓町人は唯其儲けた金を政府に納むるのまで一度は納り升し以上は其金が何の用に立つやら何人の手落ちるやら

聊之を心に掛くる者の御座り升せん百姓町人は金を出すのみで役人の其金を遣ふのみで金を出す者は遣ひ拂の事に與からず金を遣ふ者は金を出すの心配が御座り升せんから自然と其金の取扱が不取締り成り升して無用の事に費す様の事に成り至り升る次第で御座り升す之を嘗へ升るに此に親子兩人暮の一家が御座り升して其親は決しうらん放蕩者で唯儲と遣ふ一方、息子は至極の勉強家で朝から晩まで儲け出し金はソックリ其儲親も儲し蓄て其金の遣道は口を容れないとであり升したならば其一家の成行は何様で有り升らうか貧乏は請合遂には親子兩人とも路頭に立たなければならぬ様な次第に至り升る況んや政府と申す者は親でもなく又人民は息子でも御座り升せんから其金の遣ひ拂を嚴重に取締るは勿論のことで御座り升す併し其金の遣道を取締りたる政治の全體も口を出したりし升するの第一相應の智識も必要で兼て世間の事情にも通せなければ成り升せん或る西洋人の名は爾耳と申し升す其人の説に人民に政治の思想を興へて全國の人が全國の仕事を取締る様にすれば外に是れと云ふ手段もあいで其人に参政権を與へ國會杯を開て全國の仕事と互に相談し次第々々に國に政治に慣れさせる第一番だとして有り升するが成程是れも道理ある説では有り升すけれども最初から漫更ら何も知らない人を集めて相談した處で後にも立たないで役に立たない位なら我儘も出来升するが夫れでは九で太切な國の政治を手習は難紙もする様なもので随分不都合な事があるが有升る村の相談や町内の寄合も出来ない位の人立派な議事堂に列坐した所が餘り善い相談も出来升す舞ひ夫れだから先づ人の説を聴たり新聞を讀たり又新聞の著した書物を讀たりして其考を廣くするとが極々肝要で御座り升す其考が淺く其見聞が狭い時は廿三年國會開設の後より至り升して今日と同様なことで餘り面白事も出来升す舞い (未完)

官報

醫師産婆業免狀 本年一月より六月に至る半年間新に醫師産婆業免狀を付與せし試験及第證を有する者二百四十五人、内齒科九人、東京大學及府縣特許醫學校卒業證を有する者三百二十四人、外國醫學校卒業證を有する者二人、限地開業の者九人にして總計五百三十四人、開業醫師の死亡して免狀を返納したるは四百三十四人、免狀を返納したるは三百六十七人なり(内務省)
芝罘虎列刺 芝罘砲台の支那海軍艦隊ラッドフーに輕症虎列刺に罹りたる者四名あり又獨逸軍艦ウルフ號にも同患者三名あり(内二名死亡)號も同港病院に於て治療中あり又去月十九日我高千穂艦乗組の火夫二名類似及疑似症虎列刺に罹り是又當時病院に在りて専ら療養中なり但し差して激烈の流行にあらざるが如しと去月二十一日附を以て在港本邦領事館より通報ありたり(外務省)

雜報

樺山大官 海軍大官樺山資紀氏并に其一行は去る二日佛國巴里府に着し來る八日マルセイユ港發の汽船に搭して歸國の途に就く筈あれば來月中旬には歸京すべしとあり
井上法制局長官 法制局長官井上毅氏は相州地方へ旅行の爲り一昨三日出發したるよし
岩越鐵道 嘗て本紙に記せる如く岩越鐵道敷設の事に付ては昨年以來種々の論議あり若松有志者の中に

も白河派と郡山派との分裂を生じ昨年中雙方上京して各々計畫する所あり此事を開きたる郡山、白河、須賀川邊の有志者も各々其土地に線路の起點を設けんと欲し議論免角纏らさりしが新潟の有志者より最初の計畫ある馬車鐵道を止めて汽車鐵道となし新潟迄達せしめては如何と相談來るに及んでこれに同意するの運びに立至りたれ共郡山派と白河派の議論は依然纏まらざる以上到底何れへも敷設すること能はざるに至らんとして大に憂慮する向もありしが過日會津人山川高等師範學校長が同地方邊遊の序を以て折田福嶋縣知事と計り百万兩派の和解に盡力し遂に去月下旬を以て北會津郡役所の樓上に於て山川氏及び折田知事代理沼澤庶務課長、諏訪北會津郡長、町野大沼郡長、小室監獄署長等列席の上で郡山馬車鐵道止めて更に岩越鐵道を敷設せざるに付今迄の經費を金千圓と假定して之を岩越鐵道會社創立費に組入れ、若し白河派の實費千圓を超過しざるときは郡山派の實費を同額に増加し白河派の實費千圓以内なるも郡山派は費用は千圓より減せざる事、發起人を定むるに、知事の指名を乞ふ事、發起人中より總代人を撰舉し諸般の事を調遣せしむる事、停車場は若松若しくは同地近傍便宜の地に置く事と數箇條の規約を決定し昨年來の紛糾も遂に和解し局を結ぶに至りしと去る二日の福嶋新聞に見えり
英獨帝室の間柄 獨逸の今帝ウイヘルム第二氏は英國女皇の孫なれば通常の例を以て云ふ時は下世話な調ゆる孫は子よりも可愛程には行かず其兩帝室の間柄は最も深密なるべき筈なるも英國女皇の長女ヴィクトリア皇太后とウイヘルム皇帝との母子の間柄は如何に充分なる敬愛を得ざる所より夫帝フリードリヒ第三世崩殞の後には榮枯忽ち地を變へて先頃より較や面白からぬ風説の世間にさへ傳播するに至りければ英國女皇は獨逸今帝の治世を好まざる事近頃に至りては既に其程度は達したるもの如し最覺の長女が皇太后として充分の尊榮を受くべき筈なるに其反對に出で冷遇するものと聞いては萬乘至尊の女皇とて不平を感ずるに至極尤もと申すべしけれなれども左る帝室の不和より延びて兩國交際上の表面に其不和を及ぼすに至らば兩國の利害如何あらんか先頃ウイヘルム皇帝が法國の大使として獨逸のウイナルフエルト將軍が英國に赴きし折女皇は獨逸の母君に無情なるの故を以て其大使を冷遇しざる所より獨逸の帝室にては大に不満を感じたるのみならず事漸く兩國交際上の紛糾となるに至れり始め大使ウイナルフエルト將軍は英國倫敦に到着して直傳令使キヤブナンフヤコブを外務省に遣はし來意を告げ且つ女皇陛下に謁するは何時何所と於てすべしと問合せたるに外務省よりの答に「便服にてウイナルフエルト將軍の出頭ありしとの事なりければウイナルフエルト將軍の餘りの事に只々驚愕の外ありし如何と云ふれば左る取扱は常禮に反して先例なきのみならず將軍の官位より考ふるも著しき輕蔑たるも明かなればなり左れば便服するべしとの事なれば此方なく之を用ひんとすれども勿論左る用意なきが故に將軍及びウイナルフエルト氏に於て女皇に謁せし時女皇より二氏に掛られし辭は極めて無情短促なるものにて只だ將軍に十兩ウイナルフエルト氏に八兩のみ此にて謁見は事畢れり而して伊、露、獨等の諸國へ還遣され

煙草店開業廣告

愛知縣産所製煙草之儀ハ各地方に販路相開ク高客ノ好一々に紙捲刻細切 煙草各種

愛宕館設立委員
愛宕館設立ハ付新道開設之儀及山嶺修葺可相成ルニ補助費トシテ金五百圓下見付可成ル旨官報有之候此段本館會同諸君ニ廣告ス
明治廿一年 九月一日

山形鐵道株約金五圓也
松本銀太郎 記名之分派失之旨届出